

2014年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社 メガチップス
 代表者 代表取締役社長 高田 明
 (コード番号 6875)
 問合せ先責任者 専務取締役執行役員管理統括部長 藤井 理之
 (TEL 06-6399-2884)

第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2014年5月9日に公表いたしました2015年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と、本日公表の2015年3月期第2四半期決算(累計)の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 第2四半期業績予想と実績との差異について

2015年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異 (2014年4月1日～2014年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,500	1,000	900	400	17.13
今回実績(B)	30,492	1,786	1,406	674	29.80
増減額(B-A)	△1,007	786	506	274	
増減率(%)	△3.2	78.7	56.2	68.6	
(ご参考)2014年3月期第2四半期実績	31,352	2,485	2,616	3,817	163.50

差異の理由

2015年3月期上半期の連結業績につきましては、事務機器向けLSI及び通信向けLSIの需要が堅調に推移したものの、ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が一部下期へずれ込んだこと等により、全体の売上高は前回発表予想を下回る結果となりました。また、研究開発費が効率化及び下期への期ずれにより減少したこと、また、米ドル及び台湾ドルの為替レートが予想以上の円安で推移したことで、海外子会社との連結調整時に為替差による利益が発生したこと等により、営業利益が押し上げられました。なお、その為替差による利益は、営業外の為替差損で調整されております。

2015年3月期通期の連結業績予想につきましては、今回、為替レートの変動が主な業績の修正要因となっており、為替レートの推移、また、その影響度合についても予測が難しいため、前回発表予想を据え置いております。

なお、当第2四半期連結累計期間の実績については、本日開示しております「平成27年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」をご参照ください。

※ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

以 上